

普及活動情勢報告（令和 5 年 7 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

現場の声を普及活動に ～第 1 回高知地区農業改良普及推進協議会～



協議会の様子

7 月 3 日、高知農業改良普及所で、農業者代表や関係機関など 18 人が参加し、高知地区農業改良普及推進協議会を開催しました。

農業改良普及所からは、今年度の普及指導計画や基盤整備についての説明の後、意見交換を行いました。

委員からは「どの課題においても担い手不足が課題になっている。今までと違った新しい考え方を入れて、高知らしいアプローチの仕方に取り組んでほしい。」「農業者が経営をしっかりとできてないと厳しい時代になっている。部会の中でも経営に関する指導もお願いしたい。」等の意見が出されました。

農業改良普及所は、委員から出た意見を参考に関係機関と連携し、地域の農業の課題解決に取り組みます。

1 年間お疲れ様でした！ ～春野トマト部会反省会～



反省会の様子

7 月 4 日、JA 高知県春野営農経済センター大会議室にて、トマト部会反省会が行われ、8 名の生産者が参加しました。JA からは販売実績や市場情報について報告があり、各生産者が 1 年間を振り返る機会になりました。

農業改良普及所からは、省力化を目的としたななめ誘引の実証試験の結果を報告しました。

生産者からは、ななめ誘引による省力効果や樹・果実・収量への影響について質問があり、実証農家も交えて活発な意見交換ができました。

農業改良普及所は、来作も JA と連携してトマト産地の発展を支援していきます。

今年の稲の出来はどうか？ ～JA 高知市稲作部会現地検討会～

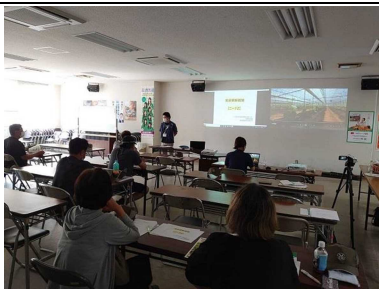


現地検討会の様子

7月7日、JA 高知市稲作部会現地検討会が開催され、生産者 12 名が参加しました。普及所の試験ほ場と農業技術センターの試験ほ場を視察し、農業改良普及所からは水稻奨励品種決定試験などの試験ほ場の概要と生育状況について説明しました。会では品種間の生育差や鶏ふんを用いた栽培方法などについて意見交換が行われました。生産者からは「‘高育 82 号’について、いもち病抵抗性があるなら早く植えたい」、「鶏ふんを使用するには散布する機械が必要」など様々な声が上がりました。

農業改良普及所は、今後も課題解決に向けて水稻の安定栽培技術の確立と普及推進に取り組んでいきます。

完全更新栽培やってみませんか？ ～ニーナ Z 栽培説明会～



動画で解説

7月11日、JA 高知県春野胡瓜部会が‘ニーナ Z’を利用した完全更新栽培の説明会を開催し、30 名の生産者が参加しました。‘ニーナ Z’を栽培している生産者、JA、普及所で連携し作成した完全更新栽培の仕立て方法についての説明動画を使い、栽培技術と労働力軽減効果について情報提供を行いました。

生産者からは作業工程や管理方法についての質問があり、生産者同士での活発な意見交換が行われました。また、次作は栽培してみたいという方が増加しました。

今後も普及所は JA と連携し、春野胡瓜部会の生産力の維持向上に向けた活動を支援していきます。

令和 5 年園芸年度を振り返って ～JA 高知県春野ナス部会反省会～



反省会の様子

7月13日、JA 高知県春野ナス部会の反省会が開催され、生産者 10 名が参加しました。

農業改良普及所からは、「促成米ナスの仕立て方法」及び「促成ナス‘PC お竜’の仕立て・整枝方法」の試験結果の報告と、データを活用したハウス内環境改善の取組事例を紹介しました。

生産者からは、仕立て・整枝方法についての質問が多く出され、「次の作は密植の試験をしてみてはどうか」等、次作の試験内容の提案もあり、意識の高まりを感じました。

農業改良普及所では、次園芸年度も JA と連携し、ナス生産者の収量向上を支援していきます。

就農状況報告会 ～就農5年目までの新規就農者の現状把握と今後について～



就農状況報告会の様子

7月18、19、24、27日の4日間、高知市で就農5年目までの農業次世代人材投資事業活用者10件について就農状況報告会を開催しました。令和4年度の決算書や出荷量の実績などを基に令和4年度の営農に対する取組状況や栽培・経営上の課題や改善策、次年度に向けた目標などについて、JA、高知市、普及所からなるサポートチームで聞き取り、助言を行いました。

新規就農者からは「次作もしっかり行いたい」、「計画に近づけるようにしたい」など次年度に向けた目標などを聞くことができました。

普及所は今後も、関係機関と連携しながら新規就農者の安定した農業経営に向けた支援を行っていきます。